

奥飛騨温泉郷における 学生インターンシップ制度

名古屋外国語大学 現代国際学部 国際教養学科
酒井春菜 滝浪香織 古川愛菜

はじめに

【背景】

- ・インバウンド観光客増加の取り組み×
→約20%の旅館が
人手不足

【目的】

- ・学生インターンシップ制度の導入
→奥飛騨温泉郷の
人材確保・育成
＝観光促進

現地調査

調査期間：2022年9月9日(金)～11日(日)

調査対象：宿泊施設20軒
・平湯温泉9軒
・福地温泉11軒

調査方法：聞き取り



調査結果：外国語対応

- ・ 現在、外国語対応が可能な従業員がいるかどうか

→ いる（10軒）

10軒のうち、大きい旅館は7軒、小さい旅館は3軒

- ・ 対応可能言語

→ 英語：10軒
中国語：2軒
ベトナム語：2軒
ネパール語：2軒
韓国語：1軒

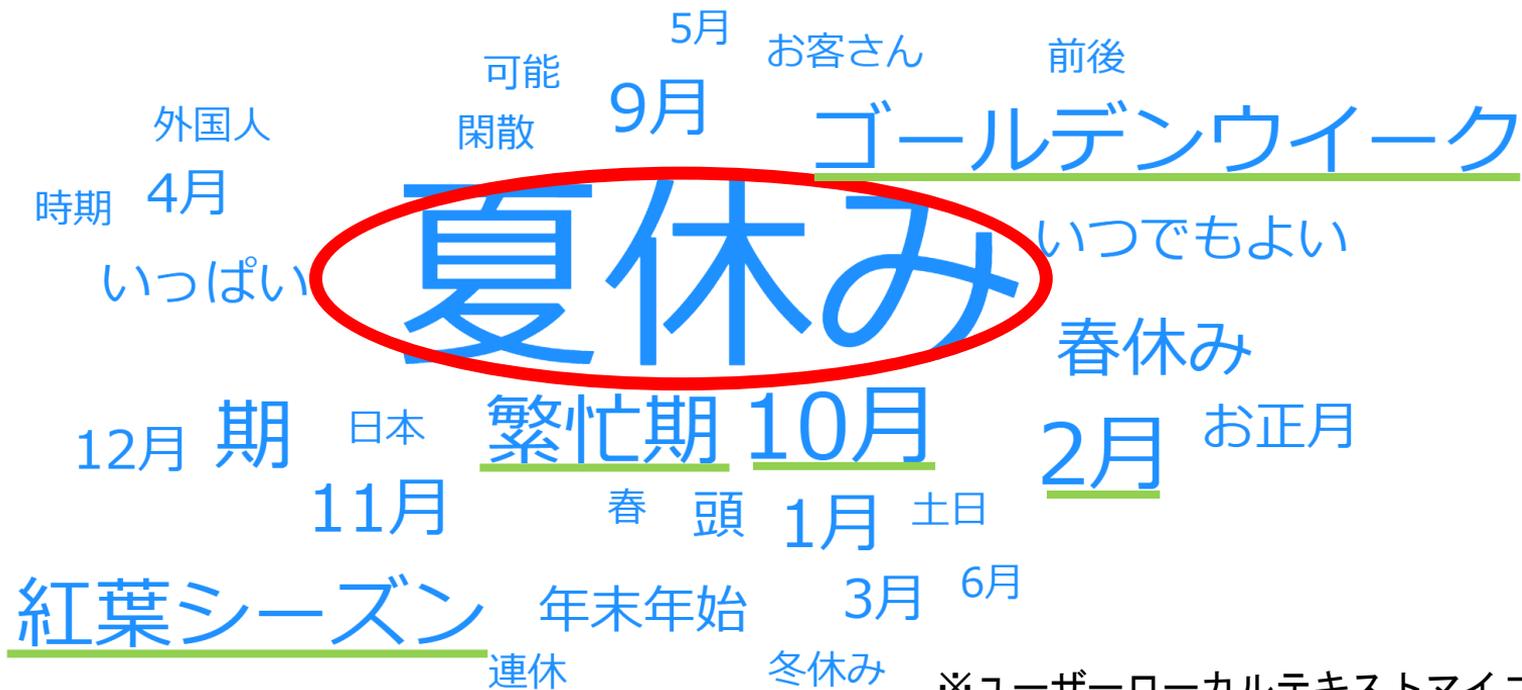
「大きい旅館」：客室数が多い10軒
「小さい旅館」：客室数が少ない10軒

調査結果：インターンシップ受け入れ態勢

- 小さい旅館と比べると、
大きい旅館の方が受け入れ態勢が整っている

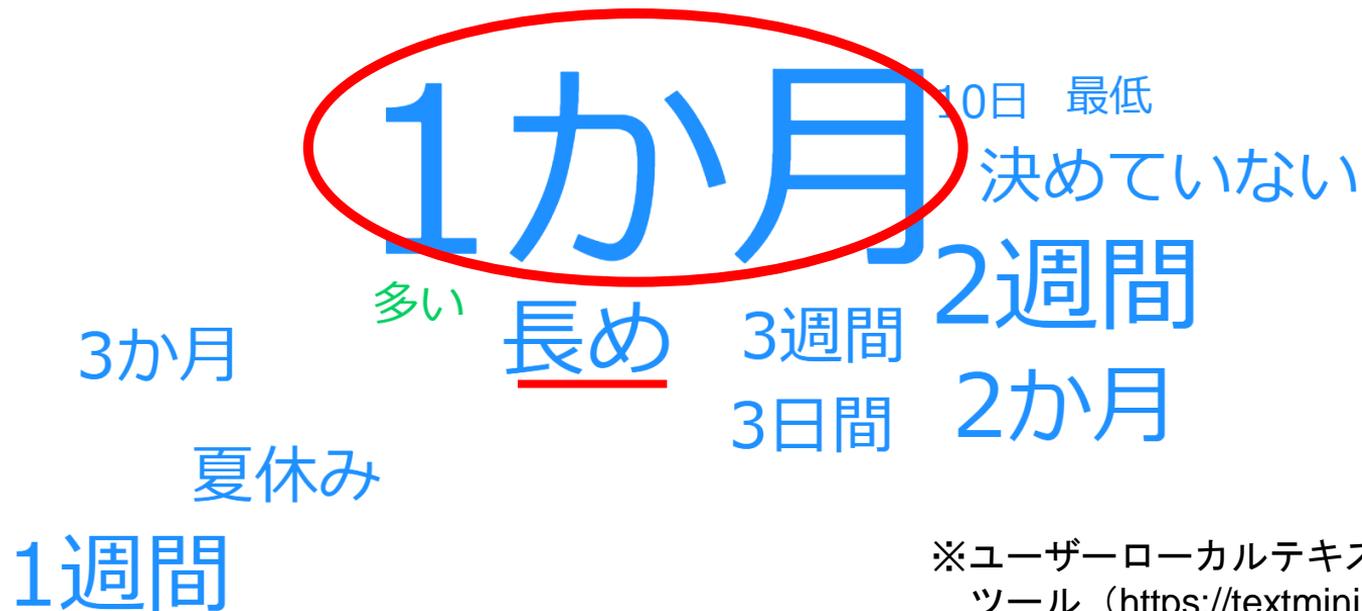
旅館	労力面	食事面	宿泊部屋
大きい旅館 (10館)	10	10	10
小さい旅館 (10館)	8	9	8

調査結果：インターン受け入れ可能な時期



※ユーザーローカルテキストマイニング
ツール (<https://textmining.userlocal.jp/>)
による分析

調査結果：インターン受け入れ期間



※ユーザーローカルテキストマイニング
ツール (<https://textmining.userlocal.jp/>)
による分析

調査結果：旅館側の不安

環境

- 奥飛騨はコンビニも無く、遠いからその環境に慣れる事が出来るのか
- 共同生活になるので人間関係が心配

仕事

- 宿の仕事は忙しいので、心構えをしておいてほしい
- 旅館の仕事は拘束時間が長いので体力勝負

その他

- どのような人なのか最初に会ってお話したい

調査結果：インターン学生受け入れ経験

- ・ インターン学生の受け入れ経験があるか？

→ある（4軒）

4軒のうち、大きい旅館は3軒、小さい旅館は1軒

- ・ どのようなインターン学生を受け入れたか？

→日本人（1軒）

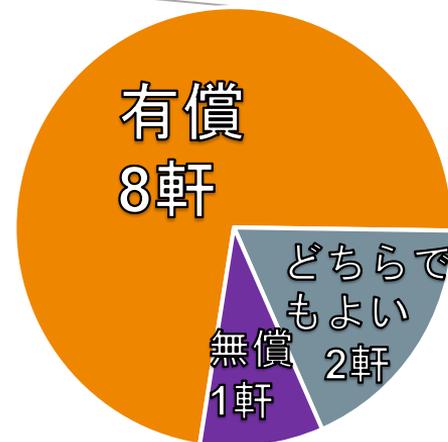
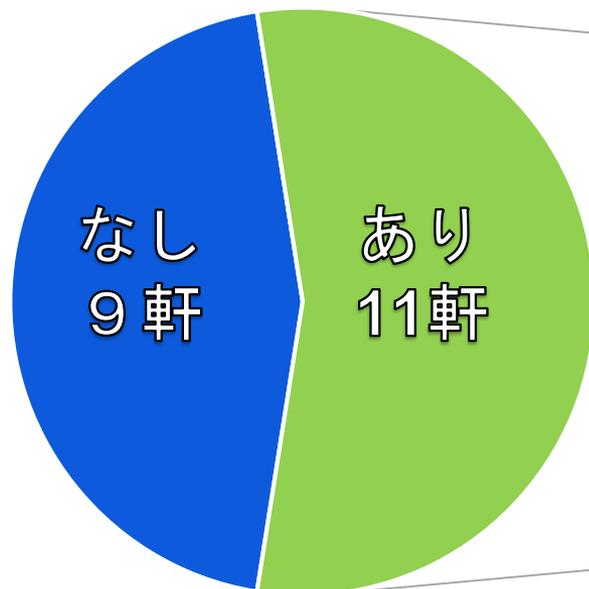
台湾からの留学生（3軒）

中国からの留学生（1軒）

調査結果：待遇

待遇についての言及

有償・無償



旅館での学生インターンシップ制度について

インターンシップ



アルバイト

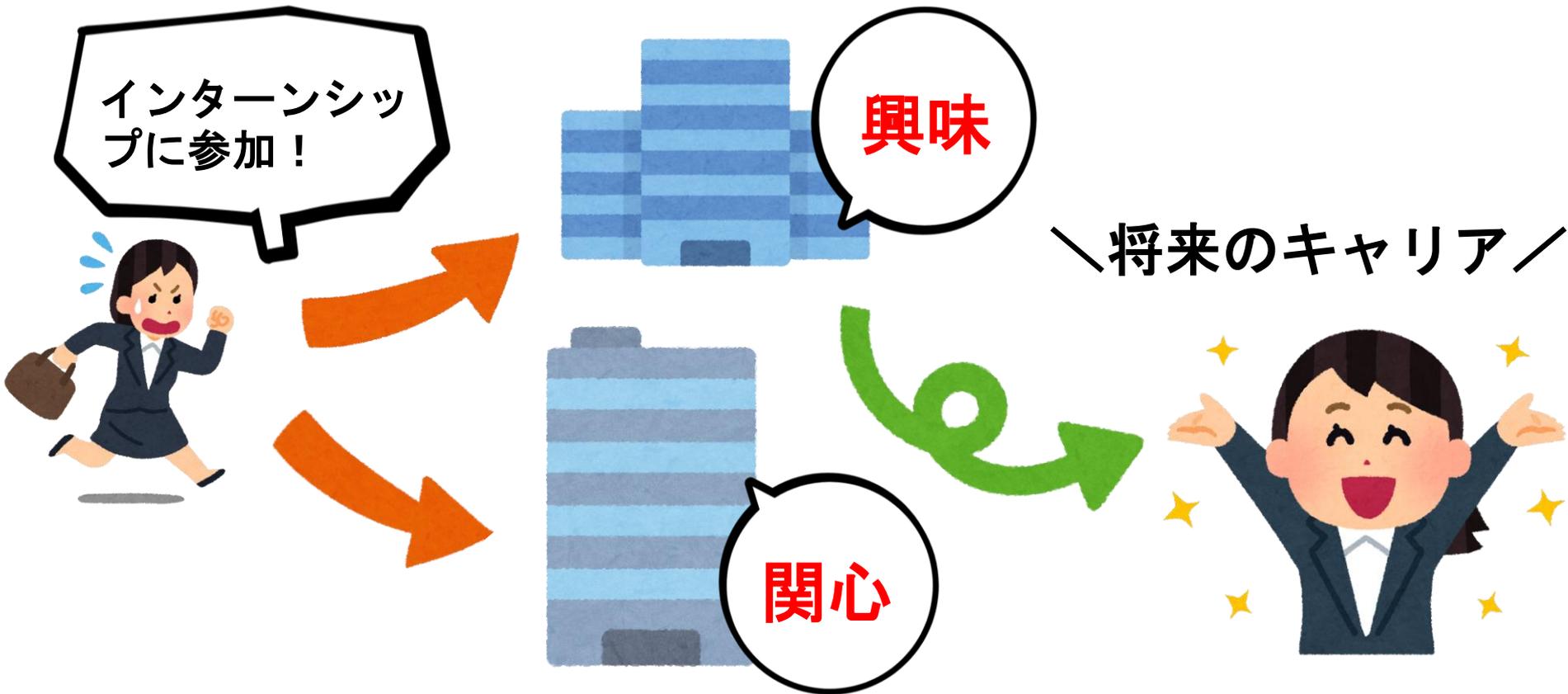
そもそもインターンシップとは...

インターンシッ
プに参加!

興味

＼将来のキャリア／

関心



旅館側の利点（短期的）

人手不足

インターン受け入れ

手薄な業務カバー



旅館側の利点（長期的）

インターン生



人材確保・育成



- そのまま就職
- 旅館業や観光業に就業



学生側の利点



双方の利点

学んでいる分野



住み込みで
旅館業



- ・ 学生の特性を活かす
- ・ 奥飛騨について知る
- ・ 業務改善
- ・ 新企画の提案、実践



学生インターンシップ制度のパイロット事業

マニュアル通りに実施すれば出来る訳ではない

大学ごとに異なる事情や専門性を理解、
プログラムの課題設定や実施方法を細かく検討



大学側が旅館との合意形成を図る

試験的に名古屋外国語大学が、調査対象地である
平湯温泉及び福地温泉旅館で実施する。

受け入れ態勢が整っている
旅館を対象

パイロット事業

- 宿泊型のインターンシップ

旅館が宿泊場所をインターン生に提供

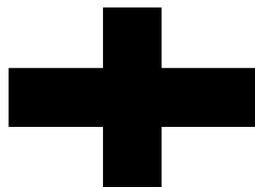
- 実施機関：名古屋外国語大学

- 実施時期：夏休み

- 受け入れ人数：各旅館の希望に沿う

期待される業務

通常の業務

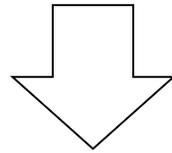


外国人観光客への対応や通訳、
ガイドの役割

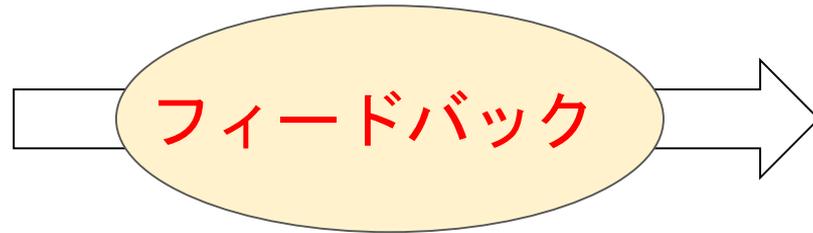


給与について

インターンシップ \neq アルバイト



無償



単位

旅館

学生

旅館側の負担について



- 初日と最終日の交通費
- 食事の提供
- 宿泊場所の提供

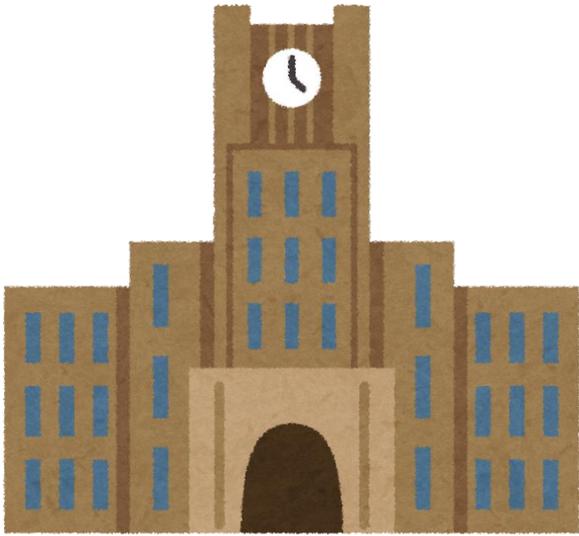
旅館同士の相談・協力

学生を受け入れたいが、
宿の提供が出来ない



申し込みについて

ステップ1



大学



どの旅館がどれくらいの期間、
何人の学生を求めるか

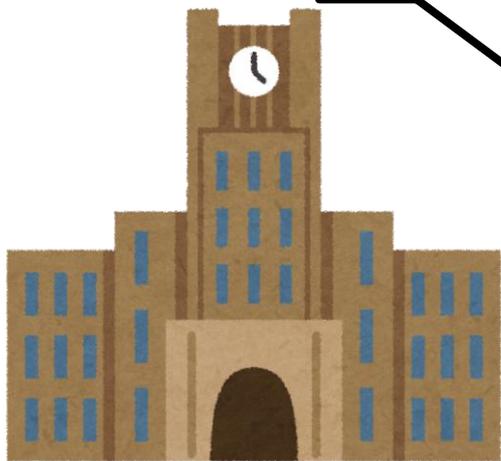


平湯・福地温泉

ステップ2

zoomなどを利用して
一緒に選考

不安解消



大学



平湯・福地温泉

旅館の不安の声
→どんな学生が来るの
か事前に知りたい

まとめ

実施

パイロット事業の結果と教訓をもとに、奥飛騨温泉郷に大学連携の学生インターンシップ制度を導入

目的

- ①学生や若手人材の関心を高める
- ②学生が奥飛騨地域と旅館業について知る
→人材確保・育成
- ③人手不足解消
→奥飛騨地域の活性化

留意点

- ①大学・学生・旅館の綿密な連携
- ②インターンシップの目的・方法の明確化と共有

より効果的・円滑
に行うため

参考文献

高山市 [2022] 「インターンシップ支援事業補助金」

<https://www.city.takayama.lg.jp/shisei/1000067/1002790/1002803/1007370.html>

(最終閲覧日：2022年11月30日)

田中智麻 [2020] 「地方創生インターンシップを推奨するための要件と課題—観光事業者での地域人材育成プログラムの実証から—」

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jitr/31/2/31_25/_article/-char/ja/

(最終閲覧：2022年11月30日)

名古屋外国語大学現代国際学部国際教養学科佐藤ゼミ3年生 [2021] 「奥飛騨温泉郷平湯温泉観光地調査：結果報告書」

文部科学省 [2020] 「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取り組みの推進に当たっての基本的な考え方」

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/sangaku2/20220610-mxt_ope01_01.pdf

(最終閲覧：2022年11月30日)

山川和彦 [2018] 「観光地におけるインターンシップの意義に関する考察」

https://drive.google.com/file/d/1JWtmGGLFjMSzxE7yXD_eHYuIBLX7whEM/view?usp=share_link

(最終閲覧：2022年11月30日)